

財団だより

第155号

2018.9

# 多摩川



## 野鳥の鮎漁

写真・文 大野 章  
(川崎市多摩区在住)

多摩川の鮎は順調に増加して、現在では数百万尾が遡上しているそうです。小魚を主食としている野鳥達も、その鮎を目当てに集まってきます。特に鮎の産卵期の10月～11月には野鳥達の数が増え活発な鮎漁が見られます。漁は、まずカワウが集団で、鮎を捕まえながら浅瀬に追い込みます。そこに「便乗組」の、コサギを中心としたサギ類が多数集まり、賑やかな漁となります。川面が白と黒に覆われたようになることさえあります。また10月末からは冬鳥のユリカモメも加わって、水中、水上、空中で多数入り乱れての漁が展開されます。時には他の鳥が捕まえた鮎を奪おうとする鳥もいて、生存競争の厳しさを感じさせられることもあります。

### 目次

■ 特別寄稿 多摩川改修100年に寄せて… 2	■ インフォメ／多摩川 …………… 10
■ 多摩川散歩 …………… 4	■ ヘタレサイクリスト 多摩川を下る! …… 18
■ 多摩川に学ぶ …………… 5	■ 助成研究募集のご案内 …………… 20
■ 多摩川改修100年プロジェクト …………… 6	■ 読者コーナー …………… 22
■ 財団からのお知らせ …………… 8	■ 事務局より …………… 23



多摩川改修 100 年に寄せて

# アミガサ事件と有吉堤、多摩川直轄改修への道

国土交通省国土技術政策総合研究所  
主任指導官、博士(工学) 和田 一範

今年、大正 7 年（1918 年）に多摩川の内務省直轄改修が開始して 100 年にあたります。

それ以前の多摩川は、毎年のように洪水氾濫を繰り返し、うねうねと蛇行をする暴れ川でした。昭和 8 年（1933 年）までのこの事業によって多摩川は 2 本の太い堤防に囲まれ、以来、この 2 本の堤防を越えて大きくあふれることはなくなりました。このことが多摩川の沿線を現在のような近代都市に発展させる大きな礎となったのです。

この内務省直轄改修の開始までには、地域の人々の鉄の結束による様々な取り組みと、神奈川県、東京府、内務省の役人たちとの強い連携のドラマがありました。

そのドラマのあらましは、次のようなものです。

- ・ 明治年間から大正初期、多摩川の神奈川県側、橘樹郡御幸村上平間から中原村上丸子の地域は無堤で、毎年洪水の被害に悩まされてきました
- ・ 東京府側には連続堤が、しかも何年にも渡ってかさ上げされてきました
- ・ 明治 29 年（1896 年）制定の河川法により、神奈川県側の堤防建設には、内務省の認可が不可欠であり、事前に東京府側の了解を得ることが必要でしたが、これが了解されませんでした
- ・ 地元住民は、大正 3 年（1914 年）9 月 16 日アミガサ事件を引き起こし、神奈川県庁に数百人の集団陳情が行われましたが、事態は好転しませんでした
- ・ 大正 4 年（1915 年）に入って、道路改良によって実質的な堤防建設を進める議論が展開します。しかしこれも、川側の盛土（郡道改良）案と陸側（橘樹県道）盛土案がぶつかって、橘樹郡は大混乱になりました
- ・ 9 月、有吉忠一が神奈川県知事に就任、11 月に郡道改良で事業を許可します
- ・ 大正 5 年（1915 年）2 月に工事がはじまってまもなく、東京府側の住民からの通報を受けて、4 月 13 日内務省は工事中止命令を出します



図 1 有吉堤と多摩川内務省直轄改修区間

アミガサ事件（大正 3 年（1914 年））の当時、多摩川中下流域では、唯一、後の有吉堤の区間だけが無堤地区だった。ほかの区域は左右岸とも中小なんらかの堤防が連続していた



図 2 有吉堤（1,200 間）

- ・しかし工事は止まりません。多摩川両岸の地域住民、各村役場、県、府、両議会議員、帝国議会議員、内務省をあげての大議論に発展してしまいました
- ・この騒動は、内務省、神奈川県、東京府の三者会談により、6月10日に結着をします
- ・9月30日に工事完成した道路は、河川堤防として認可。有吉知事はけん責処分を受けます。12月18日に開催された落成式の中で、有吉堤と命名されました
- ・この同じ日、東京・神奈川両府県の議会による多摩川治水期成同盟会が発足します。両府県は統一路線で内務省直轄による多摩川抜本改修につなげ、大正7年（1918年）、直轄改修がはじまるのです

一連の事件の中で、もっとも大きなクライマックスシーンは、神奈川県庁に押し寄せた数百人の大抗議集団の場面、および、内務省からの再三の中止命令と、対岸東京側からの連日100人にも及ぶ監視集団の怒号の中で、道路改良工事に名を借りた堤防建設を進めた地元住民の場面です。

- ・有吉堤の建設は、郡道改良としての着工に対して、内務省からの工事中止命令が出てから以降は、毎日のように神奈川県知事あてに電報による中止の指示が出ており、知事はその都度、のらりくらりと命令遂行中の返事をします。一方で、御幸村直営事業である郡道改良事業には、新堤の設計図を携えた県土木課職員が派遣され、作業員として工事にあった地元住民は、その指示のもとに着々と堤防建設を進めてゆきます。
- ・対岸の下丸子村には、東京府から工事中止の状況を監視して報告をするように指示が出され、毎日100名規模の人が交代で多摩川を渡って、御幸村の現場に押しかけてきます。
- ・監視の人々がやって来ると、工事をしていた地元住民は、蜘蛛の子を散らすように自分の家や畑に逃げ帰って、素知らぬ顔をしてやり過ごします。勢い込んでやって来た監視の人々は、工事を進めているのはわかっているので、その証拠を押さえようと躍起になって家々をのぞき込んで怒鳴りちらしてゆきます。しかし、現場をくまなく見回って工事中の証拠が見つからなければ、いつまでもうろうろしても仕方がないので、いずれ対岸に帰ってゆきます。
- ・すると、また作業の人々が現場に戻って来て、堤防建設の作業をはじめめるのです・・・この繰り返りで約2か月が費やされます。
- ・その結果、内務省技師が現地調査にやって来る時点で、工事は7割方完成。内務省から調停としての最終命令が出るまでには、堤防建設は概ね完成していました。



有吉堤竣工百年の碑除幕式（平成28年（2016年）10月30日）、後ろが有吉堤跡、右端立者は筆者

毎年のように被災する多摩川の防災を目指した、当時の地元住民たちの鉄の結束と連携が、よく見て取れます。そしてこの結束と連携が、つづいて多摩川の内務省直轄事業化にむけて展開するのです。

このシーンは一例ですが、アミガサ事件と有吉堤、多摩川直轄改修への道の、一連の取り組みの中には、現代の防災に示唆を与える、防災の主役、自助・共助と、公助との連携にかかる教訓が、数多く見いだされます。

## 多摩川散歩

### 多摩川源流大学から



多摩川源流大学事務局  
NPO法人多摩源流こすげ事務局  
東京農業大学非常勤講師

### 石坂 真悟

#### エコパークに推薦！

国連教育科学文化機関（ユネスコ）の国内委員会が生物圏保存地域「エコパーク」として秩父多摩甲斐国立公園とその周辺地域を推薦することが決定しました。

ユネスコエコパークとは、地域の豊かな生態系の保全と持続可能な利活用の調和を目的とした国際的に認められた区域のことです。

このエコパーク推薦地域は、富士川、信濃川、荒川、多摩川の源流域となっており貴重な動植物も生息する地域です。それら自然資源を適切に利用しながら農林業を営み、地域独特の文化を育んできた歴史のある地域でもあります。

小菅村は推薦地域の東端に位置し、東京・神奈川・埼玉から多くの来訪者が訪れる地域となっています。都内から比較的容易にアクセスできる利点を生かし、より多くの方にエコパークの存在と、自然と地域住民が調和して暮らしている源流域を知り、学び、体験して頂ければと思います。



多摩川源流 雄滝

#### NPOこすげイベント情報

##### ○アニマルウォッチングツアー、猟師と一緒に山歩き（仮）

毎年、秋から実施する猟期に併せて「猟師と一緒に山歩き」「アニマルウォッチングツアー」を開催しています。近年注目食材として注目されている「ジビエ」ですが、地域の鳥獣害の実態や動物の生態、狩猟の制度等について学ぶと、より「ジビエ」を身近に感じることができます。下記日程以外にも今後、HPにて開催日を告知いたします。



赤外線カメラの仕組みも解説

- ・平成31年1月26日－27日（土・日）  
詳細については、当法人HPをご覧ください。

#### 『小菅の湯の前に、〇〇体験！』

小菅村を訪れる方のメインの目的として不動の1位は、やはり「小菅の湯」です。お湯につかる前に小菅村ならではの体験プログラムにトライされては如何でしょうか？

#### ■9月9日（日）第10回多摩川源流トレイルラン

今年で10回目を迎える多摩川源流トレイルラン大会。毎年、村民の人口と同じくらいの参加者を迎えて開催する、小菅村では秋の一大イベントとなりました。

- 日 時 2018年9月9日（日）
- 開催地 山梨県小菅村
- 主催 多摩川源流トレイルラン大会実行委員会
- 後援 小菅村、西東京市役所トレイルランニングクラブ、日本スポーツ&ボディ・マイスター協会（JSBM）
- 距離 25Km
- 参加費 6,000円
- 完走賞 ポリ100%軽量Tシャツ予定
- 制限時間 4時間半

詳細ホームページ [http://www.kfctriathlon.com/html/event\\_trail.html#Tama\\_trail](http://www.kfctriathlon.com/html/event_trail.html#Tama_trail)

今年のエントリーはすでに終了しておりますが、ぜひ興味のある方は来年ご参加ください。



給水所では村外からボランティアの方々も多数参加

#### 小菅村イベント情報

##### ○9月1日（土）小永田熊野神社祭典

小菅村に3つある伝統芸能の1つで「村の無形民俗文化財」に指定されています。当日は、獅子舞が地区内の要所をめぐり、夜は熊野神社舞台上で神楽が奉納されます。



演目 神剣製作貢之幕

##### ○11月3日（土）道の駅こすげ 大地の恵み祭り

道の駅こすげ駐車場において、小菅村で採れた旬の野菜の直売や、村民手作りの地元料理の店が軒を連ねるイベントです。昨年は、誰でも受け入れる村ということで、動画サイトで人気となった「ゾンビ村」を再現しましたが、今年はどんな企画が開催されるのか、ご期待ください。

## 多摩川に学ぶ

### 地域の想いをつなぐたまがわ花火大会



NPO 法人 砧・多摩川あそび村

理事長 上原 幸子

#### ルーツは多摩川の清掃活動

多摩川では、江戸時代から料亭の客寄せや灯籠流しとともに花火が行われていたそうですが、花火大会としては「ラブリバー多摩川を愛する会」による清掃活動がルーツといわれています。環境汚染が進んだ当時、河川清掃のご褒美として1973年から地域で楽しんでいた花火で、学校が救護や迷子用にテントを出すなど、PTA活動に「ラブリバー委員会」という係があったのを覚えています。この花火大会が有名になり、地域の人たちのお楽しみ行事から自治体主催行事に変わり、今では二子橋を挟んだ川崎市と世田谷区の両岸が二箇所合同で打ち上げを行うようになりました。



© ラブリバー多摩川を愛する会 (1975)

清掃が目的であった名残りとして、花火大会翌日の「多摩川クリーン作戦」には、今でも多くの地域住民が参加しています。多摩川を大切に想う市民から始まった歴史を、時代が変わっても忘れないための大事な機会になればと思います。



多摩川クリーン作戦に参加する地元中学生

#### みんなの募金で上げる花火

花火を打ち上げるには膨大なお金がかかりますが、企業の協賛が減少傾向にある中、有料協賛席の導入など様々な工夫を凝らしています。会場で募金箱を設置し、毎年エンディングの花火は前年の花火大会でのみなさんの募金で打ち上げていることをアナウンスしています。例えば10円であっても1万人、10万人と集まれば大きなお金。募金は誰でもが応援の実感がもてるものです。

以前、市民参加の協賛花火として、花火打ち上げ地点に最も近い砧南小学校の40周年のお祝い花火を上げたことがあります。学校やPTAでは形に残らない花火に行事予算はかけられないため、有志で地域の個人商店に募金箱設置の協力を仰ぎ募金を集めました。定期的に募金を回収に行くと「募金箱のおかげでお客さんと話すきっかけができた」「わざわざ募金しに来てくれるお客さんもいる」「小学生がお小遣いの一円



広報写真はコンテスト優秀作品

玉貯金を重たそうに持って来た」など、嬉しい反応がありました。このことは朝日新聞の記事にもなり、遠くから募金に訪れたり、実家に募金を頼んだ卒業生もいるなど、募金は目標額の20万円を超えました。そして花火大会当日、協賛花火のアナウンスが流れた途端に歓声が湧き上がり、打ち上げられた40周年の40の文字を模した花火と尺玉に、河川敷中が拍手喝采につつまれました。記念品よりはるかに嬉しいこの感動というプレゼントを、子どもたちはきっと一生忘れないでしょう。



多世代の混声による絆合唱団

今年の花火大会は、昨年の天候急変の影響を考えて10月の開催に変わりました。このところの気象変動から、時期を変えての花火も全国で増え始めています。お盆の時期に多く行われてきた日本の花火大会には、本来鎮魂の意が込められていましたが、花火の開催時期が変わっても、砧南中学保護者が3.11の際に被災地募金を呼びかけて始まった絆合唱団の出演など、思いは引き継がれていきます。地域主催で始まった協働の色濃いたまがわ花火大会が、秋の花火に姿を変え、また新たな物語を生むことを楽しみにしています。

# 多摩川改修100年プロジェクト

## 多摩川改修100年パネルリレー出発式を開催

多摩川改修100年パネルリレーは、多摩川改修100年プロジェクトの1つとして、多摩川の治水・利水・環境に関する歴史や役割を幅広く知っていただくために、多摩川流域の自治体のロビー等でパネル展を実施するもので、源流域から河口域まで、合計29の自治体で実施する予定です。

本パネルリレーの出発地となる源流域の小菅村では、7月23日のパネル展示の開始にあわせて、展示会場である道の駅こすげ ふれあい館にて出発式を開催しました。

出発式には、小菅村の船木村長にご出席いただき、パネルの除幕、パネルの受け渡しを執り行いました。



パネル除幕（左：澁谷慎一 多摩川流域協議会会長（京浜河川事務所長）・右：船木直美 小菅村村長）



パネル受け渡し

多摩川改修100年  
京浜河川事務所HP



# 多摩川改修100年プロジェクト

多摩川改修100年プロジェクトとして 各種イベントを開催していきます

▶平成30年7月23日（月）

『多摩川改修100年パネルリレー出発式』開催

▶平成30年7月23日～平成31年2月21日 **多摩川改修100年パネルリレースタート!**

『多摩川流域市区町村によるパネルリレー』実施

▶平成30年9月～平成31年1月

『エクスカーションツアー』実施

【第1弾】9月16日：アミガサ事件を巡るツアー

【第2弾】10月頃：砂利鉄道、陸閘等の歴史を巡るツアー

【第3弾】1月頃：河口域を巡る船上ツアー

▶平成31年3月2日（土） **多摩川改修100年メインイベント!**

『多摩川を歌う』 多摩川が歌詞に入っている校歌等を小学生が歌う合唱コンクール  
及びパネルディスカッション

各イベントの詳細については、  
京浜河川事務所HPをご確認下さい。  
(順次更新していきます。)



イメージ  
キャラクター

百川多摩

京浜河川事務所  
Facebook



京浜河川事務所ではFacebookを公開しています!

<https://www.facebook.com/keihin.river.mlit/>

京浜河川事務所の取り組みや所管する多摩川、鶴見川、相模川、西湘海岸、沖ノ鳥島に関する情報を、みなさんに分かりやすく発信していきます。多摩川改修100年の情報も発信します!

国土交通省 関東地方整備局 京浜河川事務所



## 2018 年度研究助成金贈呈式を開催いたしました



理事長・選考委員との記念撮影

7月18日（水）渋谷エクセルホテル東急に於いて「2018年度 研究助成金贈呈式」を開催し、90名近い方々のご参加を頂き盛会裏に終えることが出来ました。

本年度は、去る3月6日開催の、第60回定時選考委員会におきまして、田畑貞壽選考委員長をはじめとする選考委員の先生方により、長時間におよぶ厳正な審議の結果、41件の新規申請研究課題の中から、学術研究8件、一般研究7件、計15件の研究が助成対象に選定されました。当財団の研究助成制度は今回で44回を迎え、累計助成件数は1,252件、累計金額は14億7300万円となっております。

懇親会では、助成金受領者と選考委員との交流も多く見受けられました。受領者皆様の益々のご活躍をお祈りいたします。

また会場前ロビーでは、「多摩川改修100年」を記念して、京浜河川事務所様のご協力のもと「パネル展」を開催いたしました。京浜河川事務所制作の映像も大好評でした。「映像を授業で使いたいので貸出を！」とのリクエストもございました。会場には「多摩川改修100年プロジェクト」のイメージキャラクター「百川 多摩（ももかわ たま）」の等身大パネルと一緒に写真を撮る人の列が出来たりと大盛況でした。



# 2018年度 研究助成金受領者

## 1 新規 学術研究

(単位：円)

No.	研究課題	代表研究者	所属	研究期間	2018年度助成金額
1	多摩川における感染力を有した腸管系ウイルスの動態解明	端 昭彦	東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻 特任助教	2年	1,010,000
2	多摩川河口域における水生菌類の多様性と有機物分解機能の評価	鏡味麻衣子	横浜国立大学環境情報研究院 教授	2年	1,380,000
3	多摩川水系におけるニホンウナギの保全のための資源生態調査	黒木 真理	東京大学大学院 農学生命科学研究科 助教	2年	1,000,000
4	多摩川水系における天然及び人工放射性物質の環境総合評価	岡田 往子	東京都市大学 工学部 原子力研究所 准教授	2年	1,500,000
5	多摩川の微生物生態系モデル構築による下水処理水の影響や季節変動の解析	山村 雅幸	東京工業大学 情報理工学院 教授	2年	1,464,200
6	多摩川源流域における「耕作跡地の二次草原」の生物多様性とその時空間動態	今井 伸夫	東京農業大学 地域環境科学部 森林総合科学科 森林生態学研究室 准教授	2年	1,534,860
7	多摩川流域のアブラナ科アブラナ属の地域在来野菜における遺伝的由来と品種および栽培特性に関する研究	元木 悟	明治大学農学部 農学科・野菜園芸学研究室 准教授	2年	1,446,000
8	多摩川流域の観光発展と環境教育の役割について 一人々の観光に関わる行動分析と観光政策	高尾 美鈴	中央大学大学院経済学研究科 博士後期課程 1年	2年	1,087,000
合 計 (8件)					10,422,060

## 2 新規 一般研究

No.	研究課題	代表研究者	所属	研究期間	2018年度助成金額
1	小平市内における玉川上水系分水路網の基礎的環境調査 (玉川上水中流域の小川分水と分水路網の残存状況調査)	鈴木 利博	学び舎江戸東京ユネスコクラブ 水と緑・環境委員長	1年	800,000
2	多摩川における日本在来河原植物の分布調査	柴田 隆行	多摩川の自然を守る会 代表	2年	526,000
3	用水を地域資源として活用するための水利用の歴史 —砂川用水を例にして—	小坂 克信	立川市史編さん委員	1年	472,700
4	多摩川産軟体動物化石を利用した環境教育実験と市民参加型・調べ学習による「第四紀学」の古環境復元の研究	福嶋 徹	Geo Wonder 企画 むさしの化石塾 代表	1年	600,000
5	玉川上水・分水網の保全再生とフィールド・ミュージアム展開に関する調査	辻野五郎丸	玉川上水域研究会 代表	1年	750,000
6	御岳山山城 蘚苔類フロラ調査 —御岳山の苔の魅力を発掘し、大切な資源として後世に遺すために—	井口 三月	御岳山苔の会 代表	2年	354,680
7	21世紀初頭における多摩川および浅川水系流域の残存灌漑水田の立地環境の人文的実態把握調査と水田・用水保全活用に向けての将来的課題の研究	北村 敏	グループ・みずと暮らすひの	1年	386,660
合 計 (7件)					3,890,040

## 3 継続 学術研究

No.	研究課題	代表研究者	所属	研究期間	2018年度助成金額
1	多摩川水域における希土類元素の存在分布とその起源に関する研究 —主としてMRI造影剤用のガドリニウム濃度との関連性について—	井上 一雅	首都大学東京大学院人間健康科学研究科 准教授	2年	1,994,063
2	都市型河川における魚類の遺伝的多様性	吉永 龍起	北里大学海洋生命科学部 准教授	2年	999,265
3	多摩川集水域 50地点定期モニタリングによる放射性セシウム蓄積スポット調査	小池 裕也	明治大学理工学部応用化学科 専任講師	2年	2,000,000
4	多摩川の河川水、及び河川底の環境DNA解析による微生物叢解析 —微生物を指標とした河川管理ガイドラインの提案の試み—	齊藤 玉緒	上智大学理工学部物質生命理工学科 教授	2年	923,000
5	多摩川の潜在的な希土類元素汚染と水生生物に対する生体影響の解析	関本 征史	麻布大学生命・環境科学部 環境衛生学研究室 准教授	2年	1,840,000
6	多摩川流域所在アーカイブズの情報集約・公開に関する調査・研究 —地域持続のために—	宮間 純一	中央大学文学部 人文社会学科 准教授	2年	1,881,737
7	多摩川上流部の里山林における菌類多様性評価 —里山林は樹木共生性きのこの種多様性の受け皿となりうるか—	田中 恵	東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科 准教授	2年	800,000
合 計 (7件)					10,438,065

## 4 継続 一般研究

No.	研究課題	代表研究者	所属	研究期間	2018年度助成金額
1	ICレコーダーを利用した多摩川上流部及び東京都山間部における絶滅危惧鳥類と希少鳥類の生息調査	鈴木 浩克	井の頭 自然の会 代表	2年	409,850
2	多摩川流域の地下水の文化、価値を継承する次世代教育のためにコミュニケーションを重視した「水を守る」「水を活かす」リーダーとなる人材育成	大嶽 貴恵	環境まちづくりNPOエコメッセ 理事長	2年	500,000
合 計 (2件)					909,850
総 合 計 (24件)					25,660,015

## インフォメ／多摩川

多摩川流域他の各種団体等の9月から12月に開催される環境活動に関する  
主な行事・イベント情報を紹介いたします。

### 美しい多摩川フォーラム

1. 「多摩の物語」の語り会 (9月15日(土):世田谷区・二子玉川ライズ)
2. 多摩川“水”大学講座 (9月21日(金):公益財団法人とうきゅう環境財団 会議室)
3. 美しい多摩川フォーラムの森(青梅)・下刈りイベント (9月22日(土):青梅市柚木町)
4. 多摩川“水”大学講座 (10月19日(金):公益財団法人とうきゅう環境財団 会議室)
5. 美しい多摩川クリーンキャンペーン (11月3日(土):多摩市〈一ノ宮公園〉、  
11月10日(土):川崎市〈殿町第2公園〉、11月17日(土):青梅市〈御岳〉)
6. 多摩川“水”大学講座 (11月16日(金):公益財団法人とうきゅう環境財団 会議室)
7. 多摩川カヌー駅伝大会 2018&多摩川ウォークラリー (11月24日(土):青梅市~昭島市)
8. 第10回多摩川子ども環境シンポジウム (12月8日(土):昭島市フォレスト・イン昭和館)

#### ■お問い合わせ先

美しい多摩川フォーラム事務局(青梅信用金庫 地域貢献部内)

担当:及川/木村/鈴木

TEL 0428-24-5632 FAX 0428-24-4650

E-mail forum@tama-river.jp URL <http://tama-river.jp>

### 一般財団法人 世田谷トラストまちづくり

#### ■野川せせらぎ教室<虫をさがそう!>~野川

・9月9日(日) 午前9時30分~午前11時30分 ※要申込

#### ■秋のバードウォッチング<親子観察会>~野川周辺

・10月27日(土) 午前9時30分~11時30分 ※要申込

#### ■晩秋のみつ池体験教室~成城みつ池緑地

・12月15日(土) 午前10時~午後2時 ※要申込

#### ■世田谷トラストまちづくりリビジターセンター ~世田谷区成城 4-29-1 (野川沿い)

\*「身近な自然と触れ合うミニイベント」

・9月16日(日)、10月14日(日)、11月11日(日)、12月16日(日)

※要申込 /tel 03-3789-6111 ※10月以降のミニイベントは9月下旬から申込受付をします。

\*「みどりの上映会」

毎週土曜日の午前10時~正午、午後1時30分~3時30分 随時・申込不要

#### ■申込・お問い合わせ先

(一財)世田谷トラストまちづくり トラストみどり課

TEL 03-6379-1624 FAX 03-6379-4233

〒156-0043 世田谷区松原 6-3-5 財団HP <http://www.setagayatm.or.jp/>

## むさしの化石塾 = 多摩川の化石を教材にした環境教育学習教室です =

### ■室内ワークショップ（多摩川の第四紀学に関する調べ学習会）

- ・参加人数：1回10名限定 参加費：1000円
- ・開催日時：
  - 9/15（土）化石の調べ学習 10/20（土）化石の調べ学習
  - 11/17（土）化石の調べ学習 12/15（土）化石の調べ学習
- ・開催場所：〒208-0003 東京都武蔵村山市中央3-20-7  
むさしの化石塾 室内 ※日程は変わることがあります。



### ■化石採集体験教室（アキシマクジラ発見地で新種の化石を発見しよう!）

- 10/14（日）昭島市大神町多摩川河床化石採集会
- 11/ 4（日）昭島市大神町多摩川河床化石採集会
- ・集合場所：くじら運動公園看板前
- ・参加費：無料（共催 昭島市教育委員会）



### ■化石採集体験教室（軟体動物化石から学ぶ古環境解析学習会）

- 9/9（日）連光寺層 化石採集会 12/9（日）小山田層 化石採集会
- ・参加費：2000円（資料代込み） ※詳細日程は参加者様に別途ご案内します。

### ■依頼体験会（地域自然史学習会・オプション企画）

- ・参加費：1000円 催行人数20名。
- 「狭山丘陵里山巡検 羽村・村山軽便鉄道トンネル狭山層巡り」  
幻の軽便鉄道跡地を巡りながら狭山丘陵の地域自然史を学びます。  
狭山ゴマシオ火山灰層（SGO）観察と海成層
- ※参加希望者・団体のみ、日程調整後、実施予定。
- 集合場所：武蔵村山市歴史民俗資料館駐車場



### ★各種イベント申し込み方法

- ※事前にメールでのお申し込みをお願いいたします。
- 参加メールには、参加希望イベントを件名にお願いします。
- (1) 参加希望日 (2) 参加者氏名 (3) 性別・年齢又は学年
- (4) 所属先 (5) 住所連絡先
- (6) 電話番号、メールアドレス、webアドレス等
- (7) 緊急連絡先（スマホ、携帯端末）

※個人情報の取り扱いは十分にご注意いたします。

連絡先：むさしの化石塾メールアドレス：geo@extra.ocn.ne.jp まで、ご送信お願いします。



### ■お問い合わせ先

GeoWonder企画 むさしの化石塾  
〒208-0003 東京都武蔵村山市中央3-20-7 MKJ事務所  
むさしの化石館 042-567-1095 (FAX) MAIL geo@extra.ocn.ne.jp  
むさしの化石塾 代表 福嶋 徹

## 川崎市水辺の楽校

### 川崎市域水辺の楽校

かわさき水辺の楽校	だいし水辺の楽校	とどろき水辺の楽校
9月9日(日) 二ヶ領用水で魚つかみ (多摩区合同) 10:00～14:00 二ヶ領せせらぎ館周辺	9月8日(土) ハゼ釣り教室 13:00～15:00 水防センター前	9月23日(日) 川の安全教室 13:00～15:00 多摩川丸子橋付近河川敷
10月7日(日) 二ヶ領用水取水口で魚釣り 10:00～14:00 二ヶ領せせらぎ館周辺	9月22日(土) ハゼ釣り教室 13:00～15:00 水防センター前	10月7日(日) 昆虫探し 10:00～12:00 多摩川とどろき河川敷
11月10日(土) 緑化センター祭りに参加 10:00～15:00	10月20日(土) ハゼ釣り教室 13:00～15:00 水防センター前	10月14日(日) 丸子の渡しまつり 10:00～15:00 多摩川丸子橋下河川敷
12月15日(土) 多摩区の思いっきり外遊び (多摩区と合同) 10:00～14:00 生田小下校庭	11月24日(土) 野草と干潟の観察会 10:00～12:00 大師川原と周辺	11月3日(祝/土) 二子の渡し 12:00～15:30 二子神社境内他
	12月22日(土) 野草と干潟の観察会 10:00～12:00 干潟館とその周辺	12月23日(祝/日) 野鳥観察会 10:00～12:00 多摩川とどろき河川敷

### お問い合わせ先

NPO 法人 とどろき水辺の楽校

理事・事務局 鈴木眞智子

〒212-0004 川崎市幸区小向西町三丁目64

電話 044-201-1493 携帯 090-5814-9604

Eメール info@todoroki.org <http://todoroki.org>

## アミガサ事件 100 年の会

### ■ 1. 多摩川改修 100 年記念講演会

「アミガサ事件と有吉堤、多摩川直轄改修への道－有吉知事の政策シナリオ－」

日 時：9月16日(日) 午後1時半～午後4時

場 所：セレサ川崎農業協同組合 御幸支店 2階会議室

川崎市中原区田尻町31(南武線平間駅から徒歩1分)

講 師：和田 一範 氏

国土交通省国土技術政策総合研究所 主任指導官 博士(工学)

定 員：50名(先着順)

参加費：無料

### ■ 2. 有吉堤と多摩川現地歩こう会

日 時：10月14日(日) 集合 午前9時半

(小雨決行) 悪天候の際は、10月28日(日)に順延いたします。

集合場所：上平間八幡大神境内(南武線平間駅から徒歩7分)

コ ー ス：上平間八幡大神(アミガサ事件集結の地記念碑) → 多摩川土手(ガス橋下側) → 有吉堤跡 →  
有吉堤竣工100年記念碑 → 多摩川土手 → 丸子橋 → 多摩川治水記念碑 →  
東横線多摩川駅前(解散)

所要時間は、約2時間半です。歩きやすい靴でご参加ください。

(当日の状況によりコース及び時間は多少変動することがあります。)

案 内：和田 一範 氏

国土交通省国土技術政策総合研究所 主任指導官 博士(工学)

定 員：30名(先着順) 飲み物無料配布(1人1本)

参加費：無料

参加申し込みは、FAX 又は お電話でお願いいたします。

(FAXでお申し込みの際は お名前・連絡先・参加人数を  
ご記入ください。)

### ■ お問い合わせ先

アミガサ事件 100 年の会 会長 織戸 美紀世

FAX 044-511-1812 電話 080-9572-7479



アミガサ事件 100 年の会

## 森林総合研究所 多摩森林科学園

### ■森林講座

講座開催日	講座タイトル
9月14日(金曜日)	遺伝子組換え技術が拓く高機能樹木の世界
10月6日(土曜日)	木材が人にもたらすリラックス効果
11月10日(土曜日)	スギやヒノキはスレンダーがよい!? ー葉と幹のバランスが幹の形を整えるー
12月8日(土曜日)	森林は二酸化炭素を吸っている?吐いている?

会場:多摩森林科学園 森の科学館

時間:各講座とも13時15分～15時

受講料:無料(ただし、入園料として大人300円、子供50円必要となります。)

お申込:お申込の受付は各講座開催日の前月の1日からといたします。

(例) 5月9日の森林講座の受付は、4月1日到着分から

受付は先着順で定員に達したら締切となります。定員に達しない時でも講座開催日の1週間前が締切となります。応募受付の回答は、先着順で順次お知らせします。

往復はがき、または電子メール [shinrinkouza@ffpri.affrc.go.jp](mailto:shinrinkouza@ffpri.affrc.go.jp) で承ります。

ご希望の講座名・郵便番号・住所・氏名・電話番号・参加希望者数をご記入の上、お申込ください。

なお、それぞれのお申込1通に対し、1講座3名様までの受付とさせていただきます。

※ご提供いただいた個人情報は、森林講座の連絡にのみ使用させていただきます。

### ■お問い合わせ先

多摩森林科学園 〒193-0843 東京都八王子市廿里町1833-81

電話番号 042-661-1121 Email [shinrinkouza@ffpri.affrc.go.jp](mailto:shinrinkouza@ffpri.affrc.go.jp)

## 「第40回世田谷区たまがわ花火大会」の開催を秋に変更します

第40回世田谷区たまがわ花火大会は、区立二子玉川緑地運動場周辺を会場として10月13日(土)の文化・芸術の秋に開催します。当日は、駒澤大学アカペラサークルや大道芸などのステージと飲食ブースが午後3時からスタートします。

花火の打ち上げは午後6時から、秋の夜空を天高く華々しく彩ります。

### ■多摩川クリーン作戦

・平成30年10月14日(日)

午前8時～ ボランティア募集中

※荒天の場合又は花火大会を当日午前7時まで中止した場合は中止

主催:世田谷区たまがわ花火大会実行委員会事務局、世田谷区

<http://www.tamagawa-hanabi.com>

### ■お問い合わせ事務局

世田谷区砧総合支所地域振興課

地域振興・防災担当 03-3482-2169



## NPO 法人 砧・多摩川あそび村

### ■ 「きぬたまあそび村」

「自分の責任で自由に遊ぶ」多摩川の自然体験遊び場です。

世田谷区の委託を受けて運営し、プレーワーカーと呼ばれるスタッフが常駐しています。

日 時：毎週 4 日 月・水・金・土 10 時 30 分～ 17 時

場 所：多摩川河川敷二子緑地せたがや水辺の楽校はらっぱ

アクセス：東急田園都市線・大井町線「二子玉川駅」徒歩 20 分

東急バス 砧本村行き バス停：都市大グラウンド前下車 1 分

成城学園前駅行き バス停：砧南中学校前下車 4 分

時間と場所：イベントは「きぬたまあそび村」の活動内に、時間を区切って行います。

### ★イベント案内

#### ・生きものたくさん

9 月 22 日（土） 11:00 ～ /13:00 ～

いつもの原っぱあそびが、何倍もたのしくなる生きものツアーです！

講 師：生きもの博士・伊藤晴康さん

参加費：無料

#### ・草木染め

10 月 20 日（土） 11:00 ～ 15:00

コセンダングサやセイタカアワダチソウなど、  
多摩川の外来植物を使って染めます。

講 師：多摩川博士・えのきん

材料費：200 円

#### ・クリスマスリースづくり

12 月 1 日（土） 11:00 ～ 15:00

多摩川の原っぱに繁茂しているクズのツルでリースを作ります。

材料費：300 円

・アートの日 毎月第 2 水曜日 11:00 ～ 13:00

・体あそびの日 毎月第 2・第 3 金曜日 11:00 ～ 12:00

・野っぱらの日 毎月第 2 土曜日 11:00 ～ 13:00

・竹工作の日 毎月第 3 月曜日 14:00 ～ 16:00

・音あそびの日 毎月第 4 月曜日 11:00 ～ 13:00

詳細はブログなどに UP します。下記にてご確認ください。

### ■お問い合わせ先

NPO 法人 砧・多摩川あそび村

〒 157-0077 世田谷区鎌田 1-19-1-101 きぬたまの家

TEL 03-6447-9931

MAIL info@kinutama.com HP <https://kinutama.com/>

ブログ <http://asobimura.exblog.jp/>



**きぬたまあそび村**

## NPO 法人 多摩川エコミュージアム

### ■第15回多摩川夕涼みコンサート

日 時：9月1日(土) 開場 17:30 開演 18:00  
 場 所：ニヶ領せせらぎ館下河川敷  
 内 容：style-3! (スタイルスリー)  
 (アコースティック POP インストユニット)  
 チケット：前売:1000円 当日:1300円



### ■多摩川野鳥サロン

日 時：11月17日(土) 13:00～15:00  
 場 所：ニヶ領せせらぎ館 2階会議室  
 内 容：講師 大野 章 氏 「財団だより多摩川」表紙の野鳥撮影者です。

**野鳥写真展 11月1日～11月30日の開催期間中にサロンを開催します。**

展示写真の説明、野鳥写真の撮り方及び懇親会となります。

参加費等：500円(お茶代、資料代) 高校生以下無料 25名  
 (申込み：先着順)



第9回  
**野鳥写真展**  
 せせらぎ館周辺の野鳥たち

つづろり  
 撮影者：大野 章 (多摩区在住)

期 間：11月1日(木)～30日(金)  
 会 場：ニヶ領せせらぎ館 午後10時～午後4時 受付口(内)  
 URL: <http://www.seseragikan.com>

多摩川野鳥サロン開催

展示写真の撮影者による説明および野鳥写真の撮り方の野鳥観察などについて質疑を行います。

日 時：11月17日(土) 13:00～15:00  
 会 場：せせらぎ館2階会議室  
 講 師：撮影者 大野 章 氏  
 参加費：500円(お茶・資料代) 高校生以下無料  
 定 員：25名 (申し込み先着順)  
 ※「お茶代」は別途お支払いをお願いします。  
 <主 催> NPO法人多摩川エコミュージアム  
 <協賛> 多摩川野鳥会

### ■秋の多摩川祭り & コンサート

日 時：11月18日(日) 11:00～14:00  
 場 所：ニヶ領せせらぎ館  
 内 容：秋のコンサートとかわさき産の新鮮野菜も販売します。



専修大学生が企画・運営をします。昨年は「収穫祭」として開催しました。是非お越し下さい!

### ■お問い合わせ先

ニヶ領せせらぎ館 (にかりょうせせらぎかん) 【JR 南武線 / 小田急線登戸駅下車徒歩 8 分】  
 電話 044-900-8386 住所 神奈川県川崎市多摩区宿河原 1-5-1  
 URL <http://www.seseragikan.com/>

## せたがや水辺の楽校

### ■あそびの日（第1日曜日 10時～12時）

- ・水辺ガサガサ：東急田園都市線二子玉川駅近くの野川にはいってお魚の観察をします  
開催日：9月2日/10月7日  
集合・受付：せたがや水辺の楽校原っぱ（二子玉川緑地運動場 ピクニックひろばのとなり）  
：野川ベース（兵庫島公園（二子橋公園）の脇の野川のほとり）※2か所で受付
- ・草地ガサガサ：原っぱでバッタなどの生きものを捕まえて観察します  
開催日：11月4日/12月2日  
集合・受付：せたがや水辺の楽校原っぱ（二子玉川緑地運動場 ピクニックひろばのとなり）



### ■原っぱアトリエ（第3日曜日 10時半～16時）

- ・えのぐを使った大胆な感触遊びや、生きもののスケッチなど、自然の中であそびます
- ・火を熾してなんでもやきやき。焼いて食べたいものを持ってきてね  
開催日：10月21日/11月18日/12月16日  
集合・受付：せたがや水辺の楽校原っぱ（二子玉川緑地運動場 ピクニックひろばのとなり）



※集合、活動場所への詳しいアクセスは、NPO 法人せたがや水辺デザインネットワークホームページをご覧ください→ <https://mizubedesign.org/access.html>

※事前お申込み・参加費は不要です。当日集合場所にお越しください。

※準備などの詳細は「せたがや水辺の楽校ホームページ」でご確認ください。

→ [http://www.re-forest.com/setagaya\\_mizube/](http://www.re-forest.com/setagaya_mizube/)

※雨天荒天時の中止、プログラム変更などは、せたがや水辺の楽校ブログでお知らせします。

→ <https://semizube.exblog.jp/>

### ■お問い合わせ先

NPO 法人せたがや水辺デザインネットワーク

MAIL [info@mizubedesign.org](mailto:info@mizubedesign.org)

Tel 080-3007-5413（村上） HP <https://mizubedesign.org>



# 多摩川を下る!

ヘタレサイクリスト

その③

さて。季節の流れは本当に早いもので、むちゃくちゃ暑かった夏のすき間から、秋の気配が忍び寄りてまいります。というわけで第3回となります今回。秋風に乗って、軽やかにペダルを進めてまいりましょう。



今回のスタートは青梅の街であります。レトロな建物や看板が点在する、味わいのある街並み。ここはわざとスピードを落とし、ゆっくりと鑑賞しながら走りましょう。

多摩川に出ました。ひんやりした空気の中、木々の葉はすでに色づき始めております。渓谷と遠くに見えるマンションの組み合わせが、このあたりの独特の風景であります。



川に沿ってやや下っていきますと、気持ちの良さそうな芝生がありました。思わず入って行って昼寝をしたい衝動に駆られますが、もちろん入ってはいけません。ここは小作(おさく)の取水堰なんです。



おお。こういう建築物にたやすく出会えるのが、多摩川の醍醐味です。なんとも荘厳な風景ですが、土地の人にとっては通いなれた散歩道のようなです。



このあたりから河畔の道には「たまりバー50キロ」という名前がついています。ここから河口付近までのおよそ50キロを、沿岸の区市と東京都が「都民の健康づくりのために」と整備しているのです。なんとも気持ちのよい風景。ペダルを漕ぐワタクシもすっかり鼻歌気分。



やがて羽村(はむら)の取水堰に到着。このような機能美に間近に触れることができます(なんと明治時代の設備が現役なのであります)。「レトロ」とか一言で片付けてしまうのは、何とももったいない。



ここは玉川上水の起点でもあります。轟々と旅立っていく水の流れを見送ると、ひときわ感慨深いものがあります。



玉川上水といえば玉川兄弟。その功績を讃える銅像の前で、銀星号も記念撮影。あたりは気持ちのいい公園になっています。川の流れを眺めつつ一休みしてから、出発!





セーヌ川じゃありません。多摩川です。

いつの間にか、富士山が伴走してくれています。このあたりが、河口からちょうど50キロ。



道はときどき河畔を外れ、住宅地やグランドの中を走ります。草野球の子供たちを応援するお父さんたち。頑張れ！

いい味出してるなあ、この看板。



JR八高線（はちこうせん）の鉄橋に出ました。1945年、大雨で増水した鉄橋上で起きた列車衝突事故の遺品が、モニュメントとして飾られています。合掌。

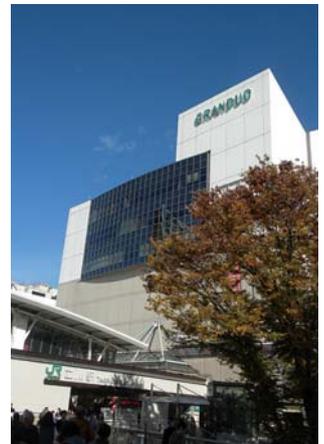


このあたりの河原には、柔らかい粘土のような地層がよく見られます。150万年～200万年ほど昔のもので、当時このあたりは海岸だったそうです。よく観察すると、貝の化石も見つけられるんだとか。ときにはクジラなどの大物も！



太古の風景を見たかと思えば、突如現れる近未来の光景。多摩モノレールの構築物の斬新さには、目を奪われます。すごいぞ人類。

ついに大都会・立川にきました。多摩川流域の風景のダイナミックな変化を満喫した旅でありました。今回の紀行はここまで。銀星号を折り畳んで、ワタクシは駅ビルの中に消えていくのであります。



### ◆今日のおみやげ



「国立(くにたち)養蜂」の蜂蜜であります。流域の養蜂家の手作りで、季節によって花の種類が異なり、色合いも風味も変化するんだとか。ハチミツファンのワタクシとしては、明日からの朝食が楽しみです。



次回は立川駅から、さらに下流を目指します！

(取材 2017年11月)

## 2019年度 助成研究募集のご案内

### 多摩川およびその流域の環境浄化に関する 基礎研究、応用研究、環境改善計画のための研究・活動の募集

公益財団法人とうきゅう環境財団（理事長 鈴木 克久）は、1975年より、多摩川およびその流域の環境浄化の促進や自然環境の保全などに必要な調査や試験研究を毎年公募してきています。その結果、これ迄に1,252件（学術研究781件、一般研究471件、14億73百万円）の調査・試験研究費用の助成をさせていただきました。

2019年4月からの助成についても下記の通り、従来と同様、意欲的な調査や試験研究を募集致します。

#### 応募資格

学識経験者の方はもちろん、一般の方でも下記テーマにあった研究で、意欲のある方であれば、どなたでもご応募いただけます。

#### 助成研究対象テーマ

多摩川およびその流域の環境浄化に関する基礎研究、応用研究、環境改善計画のための研究

- ①産業活動または住生活と多摩川およびその流域との関係に関する調査および試験研究
- ②排水・廃棄物等による多摩川の汚染の防除に関する調査および試験研究
- ③多摩川およびその流域における水の利用に関する調査、試験研究
- ④多摩川を取り巻く自然環境の保全、回復に関する調査、試験研究
- ⑤シンポジウム、音楽会あるいは出版等による環境啓発活動や、歴史的な遺産あるいは社会システムの維持保全・回復運動等、多摩川およびその流域における環境保全や文化の創造に広く寄与するもの

#### 応募方法

当財団所定の申請書に必要事項を記入、捺印の上、財団宛ご提出ください。

（申請書用紙は、公式ウェブサイトからダウンロードできます。）手書きでの申請書はご遠慮ください。

#### 助成の決定

2019年3月に開催予定の当財団選考委員会にて選考のうえ、理事会に諮って最終的に決定します。

**応募期間** 2018年9月1日（土）～2019年1月25日（金）

**応募締切日** 2019年1月25日（金）消印有効

#### 応募にあたっての注意事項

- ①ご応募にあたっては、当財団の定める「調査・試験研究助成に関する基準と個人情報保護に関する規程」を必ずお読み下さい。（同規程は、公式ウェブサイトに掲載しています。）
- ②過年度に不採用となった調査や研究の再応募は受付けておりませんので、同一の調査・試験研究課題で再応募される場合は、前回のものと調査や試験研究の内容の違いがよく判るよう工夫して、申請書をご作成下さい。

## 助成研究の種別と条件

研究の種別	学術研究	一般研究
研究の区別	環境問題改善のための調査や試験研究で、専門性が高く、その分野の学識経験を必要とするもの。	環境問題改善のための調査や試験研究で、一般の市民が、特別な学識経験を必要とせず取り組めるもの。
	(財団の公式ウェブサイトで過去の研究事例をご参照下さい。)	
1件当たりの助成金総額 の上限額	400万円	100万円
単年度の助成金上限額	200万円	100万円
研究期間	最長2ヶ年	最長2ヶ年
助成対象費目 (1) 器具備品費 (2) 消耗品費 (3) 旅費 (4) 謝金 (5) その他	<p>直接研究に使用する器具備品で1個、又は一式10万円以上の固定資産 調査や試験研究に用いる各種材料、部品、薬品等。</p> <p>調査や試験研究のための交通費、宿泊費等。</p> <p>調査や試験研究のために臨時に雇った人の謝金等。</p> <p>器機・設備などの賃借料、通信費、その他。</p>	
<p>一般研究については、従来からの調査・試験研究に加えて、シンポジウム、音楽会あるいは出版等による環境啓発活動や、歴史的な遺産あるいは社会システムの維持保全・回復運動等、多摩川およびその流域における環境保全や文化の創造に広く寄与すると思われるものも選考の対象といたしますので、奮ってご応募下さい。</p>		

最新情報は、当財団の公式ウェブサイトでご確認下さい。

<http://www.tokyuenv.or.jp/invite/>

## 読者コーナー



多摩川水大学講座に参加させていただいています。

3回の講義を終了しました。

8月は、講座は休講なので、自宅近くの「東京都水道歴史館」に行ってきました。夏休みで沢山の子供たちが自由研究の宿題をしていました。館内で、クイズに答えたり、子供に混ざり私も自習。

また文京区役所にハザードマップをもらいに行きました。

水大学講座に参加しなければ興味を持たなかったであろう、徒歩圏内の文化施設の訪問でした。月に1回の講座ですが、9月の講座が楽しみです。

久しぶりに学生気分を味わい、頂いた資料をめぐりながらラインマーカー片手の私に高校生の息子が「ママ、なんだか楽しそうだね」と麦茶をいれてくれました。

後半も欠席せずに頑張ります。

田中 のりこ

7月7日七夕に友人二人を誘って多摩川のミスベリング(多摩川の水辺で乾杯)のイベントに出かけてみました。

河川敷に沢山の星が、ライトアップをされてとても綺麗でした。

「かわさき色輪っか」というイベントで年々趣向が凝らされ、見学に来る者を楽しませます。

またせせらぎ館下では、「多摩川夕涼み涼みコンサート」なるものをやっていました。サザンの名曲を聴きながらサプライズな時間を過ごさせていただきました。

途中 花火もあがり大人も子供も大はしゃぎでした。

多摩川流域に住む家族にとって多摩川がさらに身近になりました。

誘った友達からは、「こんな楽しいイベントが多摩川であるならいつでも呼んでよ」と感謝されることしきり。こんな企画をしてくれる団体に感謝感激雨あられ♪♪♪

川崎市在住 多摩川を歩き隊



読者コーナーでは、「財団だより多摩川」へのご意見・又は流域のイベントの紹介、多摩川でみかけたものなど楽しいおたよりや情報をお待ちしております。

公益財団法人 とうきゅう環境財団 info 宛に MAIL でお送りください。

▶メール宛先

[info@tokyuenv.or.jp](mailto:info@tokyuenv.or.jp)

## 事務局より

研究助成金の贈呈式が盛会のうちに終わりました。

お集まりいただいた研究者の方々、関係者の皆様、そして、パネル展にご協力いただいた国土交通省の皆様本当にありがとうございました。

財団の活動が、いろいろな方に喜んでいただけている様子を見て私も元気もらっています。

今年の残暑も厳しそうですが、おかげでなんなく乗り越えられそうです。

読者の皆様、引き続きご支援をよろしくお願いします！（Z）



2018年度研究助成金贈呈式も無事に終了しました。

受領された皆様、改めておめでとうございます！

多摩川改修100年を記念したホテル特製のお菓子も大好評でした。

そして、2019年度の助成研究募集もスタートしました。ご応募をお待ちしております。

特別寄稿「多摩川改修100年に寄せて —アミガサ事件と有吉堤、多摩川直轄改修への道—」は、お楽しみいただけましたでしょうか？

次号から連載で、この壮大なドラマを順に紐解いてゆきます。ご期待下さい。

前号より「財団だより多摩川」表紙を飾って下さっている大野章さんの「第9回野鳥写真展」が、11月1日からニヶ領せせらぎ館で開催されます。

いまから楽しみです。皆様も是非お運びください！（M）



- 発行日 2018年9月1日
- 編集兼発行 公益財団法人 とうきゅう環境財団  
〒150-0002 渋谷区渋谷1-16-14 (渋谷地下鉄ビル5F)  
TEL 03-3400-9142 FAX 03-3400-9141  
公式ウェブサイト <http://www.tokyuenvironment.or.jp/>

2018年は多摩川改修から

# 100年

多摩川を目指していきま

これからの100年も、安心・安全な

多摩川の改修。

今日に至るまで続けられてきた

行われるようになりました。

直轄事業として整備が

多摩川の改修方針を定め、

国家の一大プロジェクトとして

1918(大正7)年から

# がた わま

改修百年

昔から好き、  
これからも好き。



多摩川改修100年イメージキャラクター  
百川 多摩 (ももかわ たま)

多摩川の近くに住んでいる明朗活発な女子高生。  
小さい頃から多摩川で遊んでいて、今も堤防が通学路。  
自然豊かな多摩川のことが大好き。

国土交通省 京浜河川事務所